

尖圭コンジローマ発生状況（2020年）【さいたま市感染症発生動向調査】

2020年の定点当たり累積報告数は6.30であり、前年(7.11)から減少したが、埼玉県(4.29)及び全国(5.79)に比べ、多かった。また、2018年及び2019年においても、同様の傾向がみられた(表1及び図1)。性別では、男性に多い傾向がみられた(約70%、図2)。年齢階級別では、男性、女性ともに25～29歳で最も多くの報告があった(図3)。

表1 尖圭コンジローマ定点当たり累積報告数

	2018年	2019年	2020年
さいたま市	6.00	7.11	6.30
埼玉県	4.53	3.86	4.29
全国	5.70	6.37	5.79

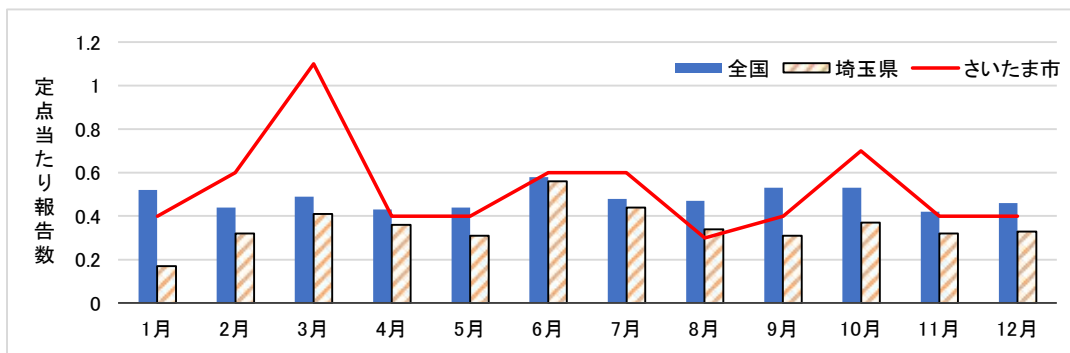


図1 尖圭コンジローマ定点当たり報告数

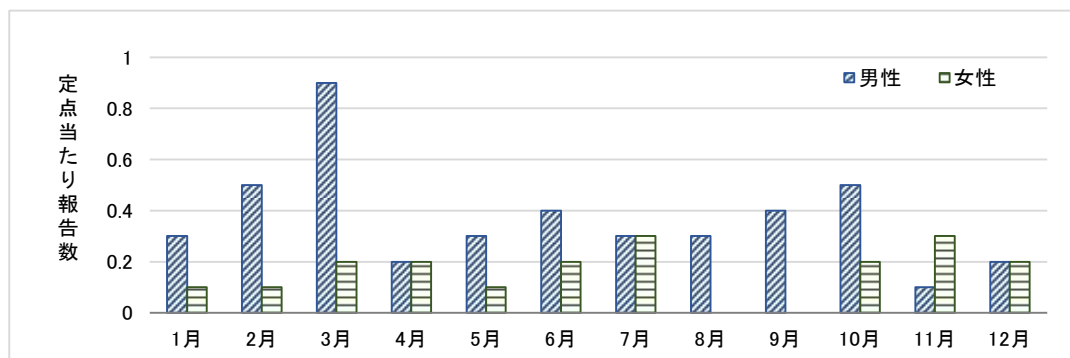


図2 尖圭コンジローマ性別定点当たり報告数

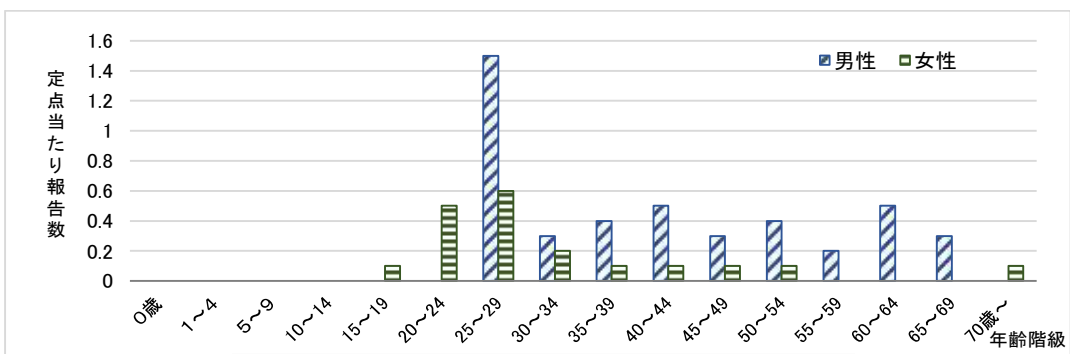


図3 尖圭コンジローマ性別年齢階級別定点当たり報告数